

小松市教育委員会会議録

会議名	平成29年 第3回小松市教育委員会定例会					
開会月日	平成29年3月2日(木)	場所	教育長室			
会議時間	(開会)午前 11時45分 ~ (閉会)午後 0 時 45 分					
休憩時間	①(休憩)午前・午後 時 分 ~ (再会)午前・午後 時 分 ②(休憩)午前・午後 時 分 ~ (再会)午前・午後 時 分					
委員 の 出席	教育長	石黒 和彦	出席	委員	北村 嘉章	出席
	委員	野田 美和子	出席	委員	蘆邊 千鶴子	出席
	委員	吉原 慎吾	出席	出席委員4名、欠席委員0名		
出席 説明 員	教育次長 山本 裕		出席	シニアマネージャー 柿本 欣也		出席
	未来の教育課長兼教育研究センター 所長 廣田 恵子		出席	図書館長 山崎 みどり		出席
	教育庶務課長 吉田 均		出席	学校教育課長 波佐尾 雅人		出席
	市立高校事務長 堀 威智郎		出席	青少年育成課長 東谷 勝美		出席
	ひとつものづくり科学館 副館長 浅野幸恵		出席	学校教育課 担当課長 松村 清子		出席
	教育庶務課参事 池田 美和子		出席			出席
書記						
傍聴者	0 名					
会議 に 付 し た 議 題	【報告事項】					
	・図書館行事について(図書館)					
	・学校給食調理等業務委託について(学校教育課)					
	・平成 29 年度市立高校一般入試出願状況について(市立高校)					
	・わくわく・ちゃれん寺の実施報告(青少年育成課)					
	・青少年健全育成大会アンケート調査結果について(青少年育成課)					
	・小松市成人式における募金活動について(青少年育成課)					
・サイエンスヒルズ春のイベントについて(ひとつものづくり科学館)						

教育委員会報告

平成29年3月2日

【報告事項】	
件名	図書館行事について
所管部課名	図書館
内 容	<p>① こまつ市民読書の日講座</p> <p>今年度のこまつ市民読書の日講座は、図書館らしい行事を企画した。シリーズでプロのアナウンサーによる本格的な朗読講座を年4回、石文化の日本遺産認定を記念し、石材を取り上げた古文書を読み解く初心者向けの古文書講座を年3回、天満宮創建 360 年を記念してイベントとして文学講座を開催した。3月には、図書館司書指導による伝統的な製本方法でオリジナルのノートをつくる製本講座を企画した。詳細は資料のとおり。子供でも親子でもできる簡単な製本方法でノートをつくる。</p> <p>② テーマ展示</p> <p>テーマ展示では、季節的なものや、その時期、その年に関連のあるテーマを取り上げ、その関連本を並べた。今回は、2月 22 日は猫の日で、世間では今、猫でブームになっている。図書館には意外と猫の本が多く、この機会に一堂に展示した。猫の写真などは愛らしく人気で、結構貸出がある。</p> <p>また、もうじき雛祭り、先月つくった紙コップのお雛さまを中央に飾り、周りにお雛様の本も置いた。さらに、今年は、夏目漱石が慶応3年(1867)2月9日に生まれ、生誕 150 年を迎えることから、各地で関連イベントが催されるが、図書館でも漱石自身の名作、「吾輩は猫である」を始め、漱石を題材にした関係本も紹介する。</p> <p>③ 小松高生による「ビブリオバトル風読み聞かせ」</p> <p>小松高校司書からの新企画で、図書館を会場に実施。</p> <p>今年度もビブリオ大会を夏に実施したが、さらにビブリオを活かした企画として、小松高校の司書から標記の企画の提案があり、図書館を会場に実施することとなった。</p> <p>内容は、高校生が幼児に絵本を薦め、選ばれた本を、高校生が幼児に読み聞かせをするというもの。最初は2冊の絵本を表題と絵が見えないようにラッピングし、この内容を、高校生はビブリオ風に幼児にアピールする。今回は幼児に、読んでもらいたい本を手を挙げて決めてもらい、選ばれた本はラッピングを外し、高校生が朗読をする。これを3人の高校生が繰り返し、時間があれば、選ばれなかった絵本も読み聞かせる。幼児には自由に感想を言ってもらう。</p> <p>高校生と幼児がふれあう良い機会でもあり、高校生には子ども目線でのよう</p>

	に伝えるか、大人に伝えるより難しいのか、意外と年が近い分、伝えやすいのか、第三者的にも興味を惹かれる企画である。はじめての試みであり、結果についてはまた報告したい。
今後の方針	
教育委員等の意見	【北村委員】 ・費用を掛けずに、工夫して企画をしていくことを続けてほしい。
件名	学校給食調理等業務委託について
所管部課名	学校教育課
内 容	<p>○ 平成27～28年度 小松市学校給食調理等業務委託の状況について</p> <p>(1) 委託事業者はニッコトラストであり、安全安心なおいしい学校給食を提供するため、①学校の給食室を使って調理する自校方式で行う。②献立は市内共通の献立で行う。③食材料は「地産地消」を重視し旬や地域性を取入れた安全安心なものを選定する。この3項目の小松市学校給食の基本をベースとして、委託事業者のより専門性の高い衛生管理やきめ細かなアレルギー対応等による調理業務を実施している。また、調理等委託3校全てにおいて、衛生面・アレルギー対応等を考慮し、規定人員に午前中3.5時間のパート職員を増員して配置している。また、定期的に研修、管理栄養士等の巡回指導を実施している。</p> <p>(2) その他の活動として、①市の献立調整委員会への参加(市と連携しメニュー案等の検討)②市の「地場産物を生かした和食給食」試食会及び食育授業の開催への協力があり、平成27年度より地元一流シェフによるバラエティー豊かなメニューの試食会及び食育授業を開催している。</p> <p>(3) 小松市学校給食調理等業務委託評価として、平成28年4月1日～12月末(給食終了日)までの評価とし、「学校業務評価表」への回答及び平成28年度残菜量調査を実施した。なお、評価者は校長及び栄養教諭・学校栄養職員であり、検証結果は、委託後も良好な状態であった。残菜量については、平成26年度を基に平成27年度、平成28年度の1人当たり残菜量を比較した。いずれも平成26年度比99%と、残菜量の減少がみられた。</p> <p>○ 平成29年度 小松市学校給食調理等業務委託について</p> <p>(1) 委託校については、平成29年度は小学校3校(芦城・第一・日末)、中学校3校(南部・芦城・御幸)の計6校を委託。試行期間において高い評価を得た「株式会社ニッコトラスト」が、引き続き6校の委託事業者として選定された(委託期間:平成29年度～平成31年度の3年間)。</p> <p>○ 平成30年度 小松市学校給食調理等業務委託について</p> <p>(1) 安全安心なおいしい学校給食の提供として、小松市学校給食の基本をベースとした、委託事業者のより専門性の高い衛生管理やきめ細かなアレルギー対応による調理業務を継続。また、地元一流シェフによる地場産物を</p>

	<p>活用したバラエティー豊かなメニューの導入促進や学校独自の献立の工夫なども取り入れ、子供たちへ今まで以上においしく楽しい給食が提供できるよう努めていく。</p> <p>(2) 委託業務の範囲は、市の調理員が行っている業務とし、調理業務及びそれに伴う配缶、運搬、食器の洗浄・消毒・保管、清掃等業務とする。</p> <p>(3) 安全衛生管理の責任所在は、小松市にあり、市が責任を持って委託事業者を指導。教育委員会が指導・支援を行う。</p> <p>(4) 委託事業者の選定方法は、価格のみで選定する入札ではなく、学校給食に実績のある委託事業者をプロポーザル方式により選定する。</p> <p>(5) 委託業務の進め方及び委託校については、平成30年度は、新たに小学校2校(安宅、苗代)、中学校2校(丸内、安宅)の計4校を委託予定している。それ以降も、条件が整った学校給食施設から段階的に給食調理等業務を委託予定している。主なスケジュールは平成29年4月に委託該当校を公表、7月に委託事業者審査・決定し、平成30年4月1日から委託を開始する。</p>
今後の方針	
教育委員等の意見	<p>【吉原委員】 ①責任の所在は市か委託事業者か</p> <p>【北村委員】 ②学校給食調理等業務委託評価に児童生徒の意見がないが ③衛生等についてマニュアル化されているのか ④給食の献立に、旬の食材を使用しているのか (小松市の特産物の宣伝にもなるので、月一回、「トマトカレーの日」を設けてはどうか)</p> <p>【蘆邊委員】 ⑤今後ニッコクだけでなく他の事業者も考えているのか</p>
回答	<p>①小松市にある。市が事業者を指導していく。</p> <p>②残菜量を児童生徒の評価の指標として提示した。</p> <p>③食中毒・異物混入等に対応するマニュアルを作成し対応している。</p> <p>④常に旬の食材を献立に取り入れるよう努めている。 ・「トマトカレーの日」についてはネーミング、回数等検討していく。</p> <p>⑤一社寡占にならないよう検討していく。</p>
件名	平成29年度市立高校一般入試出願状況について
所管部課名	市立高校

内 容	普通科1.07倍、普通科芸術コース1.17倍となりました。普通科は昨年よりやや低いものの、ここ2、3年1倍を下回っていた芸術コースが大きく伸びました。
今後の方針	生徒の進路志望の実現を図り、志望者の増加につなげたい。
教育委員等の意見	【北村委員】 卒業生が186名と少ないのはなぜか。
回 答	入学時195名で9名減である。中学から登校ができない何人かの生徒は結局、退学となりました。今資料がないので、後日報告します。
件 名	わくわく・ちゃれん寺の実施報告
所管部課名	青少年育成課
内 容	平成28年度わくわく・ちゃれん寺の開催について、資料に基づき報告。5箇所のお寺で26回、親子合わせて733名の参加があった。 平成26年度の以降は、指導者の都合や病気、高齢化などで教室開催ができなくなり、その分の参加者が減少。今年度も、指導者自身の都合により2教室(3回)が中止となった。また、参加者の募集をかけても応募がなく、中止或いは延期になった講座も複数あった。その他、教室の内容が類似したもとなってきたり、参加者の固定化なども課題としてある。
今後の方針	平成29年度の予算編成方針では財政健全化の推進が掲げられており、限られた財源の有効活用という視点において、徹底したムダの排除、施策の整理統合、固定費の削減がうたわれている。特に臨時費の5年以上継続しているソフト事業については、固定費削減調書の提出が義務付けられている。わくわく・ちゃれん寺は臨時費として80万円を計上してきたが、開催状況と予算編成方針等を勘案し、協議を重ねた結果、今年度をもって終了する。 ただし、平成26年度から校下公民館で実施している「土曜教室」の方でも、伝統文化や伝統遊びなどを実施しているので、今後は各地域へわくわく・ちゃれん寺の事業内容を案内・周知し、「土曜学習」への一本化を推進していくことを確認。 長年尽力いただいた指導者に対しては、教育委員会会議での報告終わった後、直接御礼を申し上げる予定。
教育委員等の意見	【北村委員】 ①費用対効果を考えながら事業を見直していくことも大切なことである。また相乗効果を考えながらやっていただきたい。今回は土曜学習との一本化ということであるので、継続できるものはし、今までの事業が更に拡大していくような形で事業を見直していくことは大切なこと。今回の判断は妥当である。 【蘆邊委員】 ②生花など伝統文化の継承は大切なことであるので、次の事業へのつなぎをして欲しい。

回 答	指導者へ直接御礼を申し上げる際には、また次の事業へのつなぎをしていきたい。
件 名	青少年健全育成大会アンケート調査結果について
所管部課名	青少年育成課
内 容	<p>■昨年度と調査結果で大きく変動のあった項目として</p> <p>①アンケート回答数昨年 420 から 268 に減。要因として参加者が減った。アンケートの取り方を変えた(昨年は大会が終了後に学校へアンケートを依頼。今年度は一般参加者の意見も聞くため当日配布した。)</p> <p>②年代別回答者変わった。昨年度は 70% 余りが 10 代、今年度は 40・50 代の回答者数が増。広く意見を聞いた。</p> <p>■内容</p> <p>①アトラクションがよかったという割合が昨年度より 20% 増</p> <p>②大会の総合的な「満足度で大変良かった」、「良かった」の合計が 92% 余で昨年度より 5% 増</p>
今後の方針	アンケート調査結果を踏まえ、集客、歴代受賞者の披露について改善を図ることを考えている。
教育委員等の意見	<p>【吉原委員】</p> <p>①今回のアンケート結果を踏まえて、次回以降の対策は考えているのか。年代別にこれを何で知ったかの分析結果を見せて欲しい。</p> <p>【北村委員】</p> <p>②動員確保のための仕掛け作りをしていく必要がある。</p> <p>【教育長】</p> <p>③この事業の主旨は基本的だが斬新で子ども達の良いところをほめて育てるということに賛同すると聞いている。総合的満足度に 1 人だけ悪かったとあるが心当たりはあるか。また、良かったの回答数だけを見るのではなく、悪かったがゼロに近づくように務めてほしい。</p>
回 答	<p>①歴代受賞者への案内させていただく。PR として案内を拡充していく。また、学校、広報こまつ、ラジオこまつ、新聞等々で早い段階から行なうことも考えている。今回は総合結果を報告したが、年代別の分析結果については、次回以降準備する。</p> <p>②動員確保に向け、歴代受賞者紹介(次第と会場)、大会案内通知の発送をしていきたい。</p> <p>③昨年度も 1～2 件悪いがあった。負の要因として考えられるのは、駐車場が少ないという意見があったこと。</p>
件 名	小松市成人式における募金活動について

所管部課名	青少年育成課
内 容	<p>平成29年小松市成人式における募金活動について、資料に基づき説明。集まった募金で購入した大型絵本とぬいぐるみを空とこども絵本館へ寄贈したことを報告。</p> <p>募金額 総額2万353円</p> <p>寄贈品 ①大型絵本 2冊</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「バムとケロのにちようび」 ・「スイミー」 <p>②ぬいぐるみ 1体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラシックジョージ <p>寄贈式 2月23日(木)19時～</p> <p>空とこども絵本館</p>
今後の方針	今後も、成人式の本来の意味を大切に企画・運営に努めたい。
教育委員等の意見	<p>【北村委員】</p> <p>①これも評価だと思うが、寄附金が余りにも少ない。金額が問題ではないが来賓等も含め1,000人余りの来場者があったのに少なすぎる。</p>
件 名	サイエンスヒルズ春のイベント
所管部課名	ひととのづくり科学館
内 容	<p>サイエンスヒルズこまつ3～6月イベント情報</p> <p>・3月にサイエンスヒルズこまつ3周年記念企画として毎週いくつかの企画を準備している。</p> <p>現在、宇宙飛行士油井亀美也と松本零士の企画、プラネタリウムショーも予約が8割程度入っている。</p> <p>・体験教室をバリエーションに富んだものを来年度も引き続き続けていく予定である。</p> <p>プログラミング関係でヒルズカップを企画している。スペシャリストによる体験教室に外部講師を用意している。春の特別企画として名探偵コナンシリーズを3/18～5/7開催。</p>
今後の方針	
教育委員等の意見	
【その他】	
	<p>次回教育委員会会議の日程について</p> <p>日時:4月13日(木) 午後1時30分～</p> <p>場所:小松市役所 6階 教育長室</p>

【教育委員からの意見・提言】	
北村委員	学習指導要領ねらい、目的が大切で手段だけで走ってはだめ。 教師の力量が試される。先生も地域、社会に出て、経験することが大事である。 授業だけでなくいろいろな経験をしてほしい。
野田委員	特になし
蘆邊委員	放課後児童クラブについて各クラブで差があるのではないか。
吉原委員	特になし